

10月に入ってから、絵本やお話を通してハロウィンについて知り、10月最後のハロウィンの日を楽しみに過ごしていました。始めはハロウィンのおばけたちを少し怖がっていた子どもたちも「今日はどんなおばけの絵本?」「魔女もコウモリもとべるんだよ!」とすっかり興味津々になっていました。ハロウィンの仮装のお面や帽子作りでは、線の上をハサミで連続して切ることに挑戦しました。丸くなっているところや曲がるところはクルクルと紙を動かして切るのはとても難しかったですが、真剣に取り組んでいました。

また、先日の歯科健診では、以前“健診”と聞くと不安になって緊張していた子どもたちが、誰一人泣かず嫌がらずに受けていて驚きました。終わってから聞いてみると「だってもうお兄ちゃんお姉ちゃんだもん」と言っていたうさぎ組の子どもたちです。大きくなりましたね。日々の生活の中でふと成長を感じ、嬉しくなる10月でした。

今月は指折り楽しみにしているうさぎ組になって初めての遠足!! みんなでバスに乗ったりお弁当を食べたりして、遠足ならではのことを存分に味わいたいと思います。また、収穫感謝礼拝も行います。秋の実りを感じながら豊かな恵みを与えてくださる神さまに感謝して礼拝の時を持ちたいと思います。



急に涼しくなった日の話し合いの時間、季節について話をしていました。

保育者「この間まで暑い暑いと言って、夏だったね。でも涼しくなって少しずつ季節が変わってきているよ。今は春・夏・秋・冬のどれかな?」

Aくん「……よる!」

確かに!! 夜は涼しい日が続いていました! 思わずかわいくて心が和みました。

約1ヵ月かけての『ひつじぐみハロウィン!』は、大盛り上がりで終わりました。いろいろな素材を使ってそれぞれ好きなおばけを工夫して作り、毎日のように仮装しては「お菓子くれなきゃいたずらするぞ!」と友だちとのやりとりを楽しんでいました。友だち関係も深まり、誘い合って鬼ごっこやだるまさんがころんだなどをして元気いっぱい遊んでいます。その中で思いがぶつかることもあります。楽しく遊ぶためにどうしたらいいのかをみんなで話し合っ、お互いの思いに気付けるようにしていきたいと思います。

給食ではお箸を使い始めました。「お豆つかめたよ!!」とお箸を使えるようになったことが嬉しい子どもたちは、保育者に持ち方を確認したり、難しい時にはフォークに持ち替えたりしながら意欲的に楽しんで食べています。一人ひとりの様子を見守りながら、お箸へ移行していきたいです。ご家庭でも大きくなったことを共に喜び、お箸を取り入れてみてくださいね。

今月は、22日(月)からクリスマスを待ち望むアドベント(待降節)に入ります。クリスマスの話を聞いたり、アドベントカレンダーの飾りやお家の方へのプレゼント制作をしたりしてイエスさまのご降誕を待ち望み、大切に過ごしていきたいです。



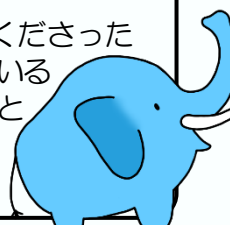
『はたけのポルカ』という歌をうたっています。歌詞の中に『見たことないような大根できた!』というフレーズがあり、「どんな大根かな?」と尋ねてみました。

Aくん「えーっ! めちゃくちゃ大きいんちゃう!?」

Bちゃん「ちっちゃいかも……」とそれぞれ想像を膨らませました。するとCくんは「こんなおもしろい大根や」と体をひねらせて、見たことないような大根を表現していました。みんなで歌の世界を楽しく分かち合いました。

先月は、ハロウィンのお店屋さんごっこや3, 4, 5歳児混合の縦割り保育などを通して異年齢の友だちと一緒に遊ぶ機会が多くありました。お店屋さんごっこの準備を進めていく中では、「小さい子は怖いおばけ屋敷だと泣いちゃうから、かわいいのにしよう!」「キャンディはあり組さんだと食べちゃうかもしれないから、袋が破れないようにしっかり止めておこう」「ひつじ組、うさぎ組には汽車じゃなくてジェットコースターの方が楽しめるんじゃない?」と年齢に合わせたものも用意しようと、意見を出し合い、話し合う姿が多く見られました。相手のことを思い、準備を進める様子に成長を感じました。こうした気持ちを大切にしながら、異年齢児との交流を楽しんでいきたいです。

11月は、収穫感謝礼拝があります。豊かな恵みを与えてくださった神さまに感謝して礼拝の時を持ちます。また、日頃お世話になっている方々の動きを知り感謝の気持ちを込めてカード作りをしていきたいと考えています。グループの友だちと一緒にメッセージを考えたり、様々な素材を使って作ったりしていきたいです。



久しぶりに雨が降った時のことです。

Aくん「今日は一日雨なんだって」

保育者「そうなんだ。外に行けないの久しぶりだね。遊びたかったね。」

Bちゃん「私は雨の日も好きだよ。だって、雨が降ると、花や木や草がお水をたくさん飲めるから。きっと喜んでるんじゃない?」

自分のことだけでなく、周りに目を向け、雨を必要としている植物のことを考えるBちゃんです。そんな一言に温かい気持ちになりました。